

扫码付款（スマホ決済）

「我只有一百块，你找的开吗（百元札しかないけど、おつりある）？」

「找不开（ありません）。」、おつりが数元だったので「不用找钱了（おつりは結構です）。」

お金の単位は口語で块、毛、分。文章語で元、角、分。つり銭や小銭の用意も必要なくなり、この言葉も近いうちに死語になっていくのでしょうか？

最近中国では支付宝（アリペイ）微信支付（ウィチャット）など「扫码付款（スマホ決済）」が支配的に。現金で支払うことが少なくなり、二セ札の心配がなくなっただけではなく、売上げの現金を数える必要がなくなり、経済効果は計り知れないということです。

デパートやレストランはもちろんのこと、街角の物乞いからお寺の香钱（賽銭）に至るまで空き缶や香资箱（賽銭箱）に現金ではなく、「二维码（QRコード）」をかざして「スマホ決済」をするそうです！？